

中区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体					
防災に関する情報発信事業		中保健センター					
事業目的	事業内容	活動指標	R2	R3	R4		
中区地域計画における「地域防災力の向上」をめざし、次のことに取り組む。 ○災害時、子どものいのちを守るために、子育て世代が備えるべき物品、知っておいてほしい知識、家族や地域で取り組んでほしい内容、感染症の予防などを市民に周知し、防災への意識を高める。	○4か月健診にて、防災ブックを配布、防災について啓発する。 ○乳幼児健診会場に実際の防災グッズを揃え、展示を行う。 ○子育てサークル・サロン、地域のイベント、保健センター事業等において、防災ブックの配布・配架、パネル、グッズの展示を行う。 ○「災害から子どもを守る」をテーマに地域子育て支援者向け防災講座を実施。	啓発回数	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集団での啓発はすべて中止となった。 4か月児健診（個別配付） 妊娠届出面接時（個別配付）	4か月児健診（個別配付）、すべての健診会場でパネルとグッズ展示を実施、妊娠届出面接時（個別配付）	4か月児健診（個別配付）、区民フェスタ（個別配付）、すべての健診会場でパネルとグッズ展示を実施、妊娠届出面接時（個別配付） 防災講座1回実施。		
		冊子およびクリアファイル配布数	冊子 980冊 クリアファイル 961枚	冊子 949冊 クリアファイル 865枚	冊子 1128冊 クリアファイル 735枚		
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性	
○	防災情報などを記載した冊子を配付することにより、区民の日頃からの防災意識の向上、ひいては防災等の被害の減少につなげることができる。地域に情報発信を行うことで、その情報を受けた区民からさらに情報が伝達され、より多くの区民に防災情報を伝えることができる。	○	区内の学校、サークル等と連携することで、防災に取り組む必要性が認識されている。自治会や民生委員会を通して啓発することで、地域への波及効果が期待できる。	◎	4か月児健診時に、パンフレットを配付し、健診会場にパネルや防災グッズ展示で啓発を行う事で、防災の情報発信はもちろん、保健センターの取り組みを知ってもらう事もできた。	○	妊娠届出面接時や、4か月児健診時に全員に配付、パネルやグッズを展示することで、より多くの区民に、防災について考えてもらうきっかけになった。地域子育て支援者へ防災講座を受講いただくことで、地域へ講座内容が広がり、波及効果となった。
⑤自立発展性		総合評価					
△	地域に幅広く情報発信をし、特に子育て世代に対して防災意識を高め、正確な情報を伝えることを目的としているため、行政が主となって行うことが妥当な事業である。	◎	新型コロナウイルス感染対策を講じ、人数制限を設け防災講座を実施。対象を子育て支援者向けとすることで、今後地域への波及効果が期待できる。 新型コロナウイルス感染症の影響で地域での子育てサークルや学校関係のイベントが中止となり、啓発活動の範囲は狭まったが、パネルや防災グッズ展示などに力を入れた。				
今後の方向性（課題、改善提案等）							
拡充 継続 見直し	4か月児健診での啓発、パンフレットの配布は継続的に行う。すべての乳幼児健診会場でパネルや防災グッズ展示を実施。また、区役所1階ロビーや自治会館等で啓発できる機会についても、配布を行う事とする。今後については、教育関係機関や自治会等への配布を検討し、より多くの区民に啓発できるようにする。						